

2 研究主題にかかわる意識・実態調査

(1) 調査対象

平成5年1月に無作為に選んだ県内中学校の英語科担当教員及び中学生を対象に、アンケートを依頼し、中学校英語科担当教員56人、中学生（1年生 344人、2年生 343人、3年生 260人）947人より回答が寄せられた。中学校英語科担当教員の年齢構成は、20代が40%、30代が36%、40代が15%、50代が7%と20代と30代が大半を占めている。経験年数でも、6年から15年にかけてが最も多く54%、6年未満が4分の1を占めている。

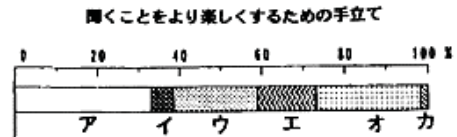
(2) 調査結果の分析と考察

調査項目は教員と生徒に対して、それぞれ10項目にわたったが、ここでは研究主題に直接関係のある「聞くこと」の指導及び学習に関する3項目を選んで、結果の分析と考察をする。

ア 楽しくするための指導及び楽しいと思う学習

「聞くこと」の指導で、より楽しくするために、どんな手だてをしていますか。(教師対象)

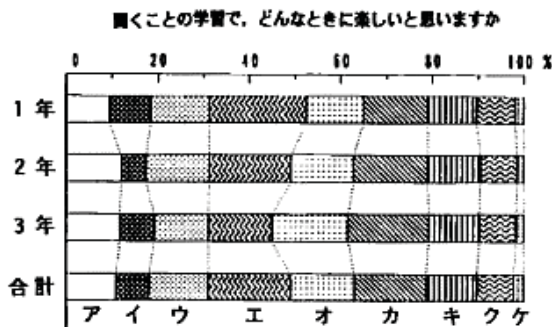
「AETの英語を多く聞かせる」が最も多く、「対話学習を取り入れた指導」「視聴覚教材を活用する」や「ゲームを取り入れた指導」も多い。一方、「英語の歌を聞かせる」や「教科書以外の教材を聞かせる」は少ない。生徒が「教科書以外の教材を聞く」ことを強く望んでいることから考えると、教師の手だての中に、生徒の意欲を喚起するためにも、教科書以外の教材が普段の授業へ導入されることが考えられてもよい。



ア	AETの英語を多く聞かせる。	33.3%
イ	英語の歌を聞かせる。	5.4
ウ	視聴覚教材を活用する。	20.7
エ	ゲームを取り入れた指導をする。	14.5
オ	対話学習を取り入れた指導をする。	25.2
カ	教科書以外の教材を聞かせる。	0.9
キ	その他	0

「聞くこと」の学習で、どんなときに楽しいと思うことがありますか。(生徒対象)

1・2年生の段階では、ゲームを中心としたコミュニケーション活動が好まれるが、3年生になると、「聞いてわかり応答すること」のできる授業が楽しいと考えている。



手立て	割合 (%)	
ア	AETの話がわかったとき。	11.2%
イ	英語の歌を聞いているとき。	7.4
ウ	習った単語や文が聞き取れたとき。	13.0
エ	ゲームを中心とした学習をしているとき。	18.1
オ	相手の質問や話すことがわかったとき。	14.2
カ	相手の質問や言うことがわかり応答できたとき。	16.0
キ	教科書の本文の内容が聞き取れたとき。	11.2
ク	教科書の本文の内容についての質問が聞き取れたとき。	8.2
ケ	その他	0.9

イ 「聞くこと」の力をつけさせるための指導及び「聞くこと」の力をつけるための学習

「聞くこと」の力をつけさせるために、普段どのような指導をしていますか。(教師対象)

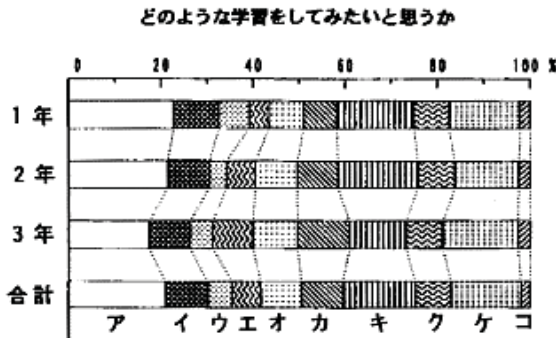
「チーム・ティーチングによるリスニングの指導」、「教科書準拠のリスニングテープの活用」、「TFテストやQ&Aを取り入れた指導」、「教室英語を多く用いた指導」が行われていることが分かる。生徒のアンケートによると、生徒は、「ビデオ教材等を活用した指導」を強く望んでいるのに対し、教師がそれらを活用している状況は、全体の1%にも満たない。



指導方法	割合 (%)
ア 教室英語を多く用いた指導	22.3%
イ ビデオ教材等を活用した指導	0.9
ウ 教科書準拠のリスニングテープを活用した指導	24.1
エ チーム・ティーチングによるリスニングの指導	26.8
オ L・L機器を活用した指導	2.7
カ TFテストやQ&Aなどを取り入れた指導	23.2
キ その他	0

「聞くこと」の力をつけるためには、どのような学習をしてみたいですか。(生徒対象)

どの学年も「ゲームを中心とした学習」を強く望んでいる。また、「ビデオを見ながらの学習」や「教科書以外の英語の本を読む学習」を求める割合も高い。

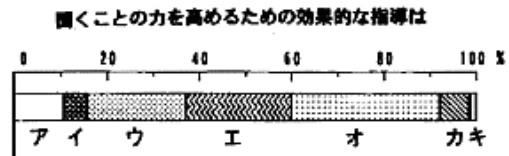


学習方法	全体 (%)
ア ゲームを中心とした学習	21.0%
イ 教科書の本文を読む	9.3
ウ 英語の歌を取り入れた	5.3
エ 英語だけを使っての	6.3
オ AETを交えての	8.9
カ ヒアリングテープを多く活用した	9.0
キ ビデオを見ながらの	15.8
ク テレビやラジオの講座を活用する	8.0
ケ 教科書以外の英語の本を読む	15.4
コ その他	1.0

ウ 「聞くこと」の力をつけるための効果的な指導及び生徒が望んでいる指導

「聞くこと」の力を高めるためには、どのような指導が効果的だと思いますか。(教師対象)

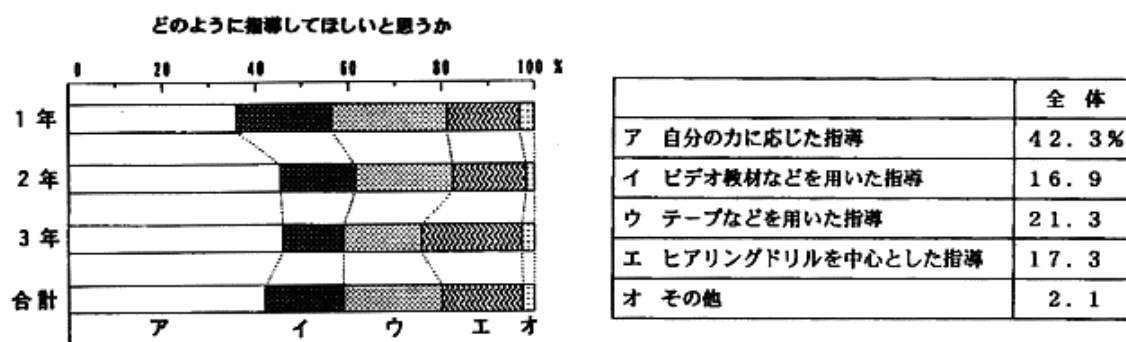
「チーム・ティーチングを通しての指導」が多く、次いで「日本語をできるだけ用いない指導」、「聞く力に応じた達成度別指導」となっている。生徒のアンケートによると、「日本語をできるだけ用いない指導」を望む割合は低いですが、個人差対応の指導は強く望んでいる。また、教師も生徒も教科書テープには関心が薄いとみえる。個人差に対応したテープがあれば、大いに活用されるものと考えられる。



指導方法	割合 (%)
ア 単語から句、節、文へと進む指導	10.7%
イ 机間巡視等による個別の指導	5.3
ウ 聞く力に応じた達成度別指導	21.4
エ 日本語をできるだけ用いない指導	23.2
オ チーム・ティーチングを通しての指導	32.1
カ 教科書準拠のリスニングテープを活用しての指導	6.3
キ その他	0.9

「聞くこと」の力をつけるためには、どのように指導してほしいと思いますか。(生徒対象)

どの学年でも、「自分の力に応じた指導」を強く望んでいることが分かる。具体的な方法としては、「ビデオやテープなどを用いた指導」を求めている。3年生は、受験を意識してか「ヒヤリングドリルを中心とした指導」を願っている割合が多い。



(3) 意識・実態調査のまとめ

調査によると、「聞くこと」の指導は他の領域の活動とともにバランスよく行われ、学習形態やAETとのチーム・ティーチング、視聴覚教材の積極的活用等に工夫はされているが、「聞くこと」の力を高める効果的な指導は確立されておらず、教師も試行錯誤しながら追い求めているのが現状である。

上記3項目の調査以外に、他の指導及び学習分野についても調査をした。それらの結果も含めて、まとめとする。

ア 4領域の指導はバランスよく行われているが、生徒が意欲的に取り組んでいるのは「話すこと」の領域で、「聞くこと」の領域への意識は低い。

イ 生徒が英語学習で、一番喜びを感じるのは、単に「聞き取れたとき、音読ができ話せたとき」にとどまらず、「内容理解ができたとき」に喜びを感じ、勉強しようというやる気につながっている。

ウ 生徒が聞き取りやすいと答えているのは、日本人教師が「ゆっくり繰り返して話してくれたとき」「視聴覚教具などを併用してくれたとき」が割合が高い。教師は英語を聞かせる指導に力をいれているが、さらに段階的な指導の必要性を感じる。

エ 生徒は「自分の力に応じた指導」を望んでいるが、教師の指導形態は、ペア学習やグループ学習等を一斉授業と併用して実施しているものの、「聞くこと」の力をつけるために、特に個別による指導をしているとは見られない。

オ 「聞くこと」の学習で生徒が望んでいるのは、「教科書以外の英語の本やビデオ、ヒヤリングテープなどを多く活用した学習」である。このことは、教師の教材の準備（開発も含む）が生徒の多様な学習活動を促し、意欲ある学習の展開を図ることになると考えられる。

カ 聞くことの力をつけるために、教師は指導の過程において様々な工夫を試みている。そして「聞く力に応じた到達度別指導」が効果的であると回答している。